矢崎エナジーシステム株式会社

お客さまご相談窓口

ガス機器事業部		053（925）4511
[北海道]	札幌	011（852）2914
[東北]	仙台	022（284）9114
[関東]	東京	03（5782）2702
	埼玉	048（654）2071
[中部]	名古屋	052（769）1532
	静岡	054（283）1151
[関西]	大阪	06（6458）8185
[中国]	広島	082（568）7802
[四国]	高松	087（833）3335
[九州]	福岡	092（411）4834

※機器に異常がある場合は、ご自分で修理なさらずにガス事業者、
　または最寄りのお客さまご相談窓口にご相談ください。
　なお、当社ホームページにおいてもご案内申し上げております。
　　URL：http://www.yazaki-group.com
※電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。
766831-7-630

空気より軽い12A・13Aガス用

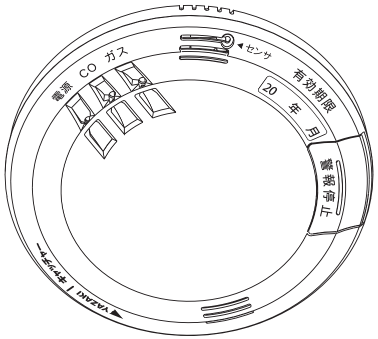
形式名　YP-764F

家庭用

ガス・CO 警報器 キャッチャー

YAZAKI

取扱説明書　保証書付



一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品

●ガス・CO警報器「キャッチャー」をお取り付けいただきありがとうございました。

●この取扱説明書はガス・CO警報器「キャッチャー」の取扱方法を説明します。

●お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、内容をご理解した上で取り扱ってください。

●本取扱説明書は、末頁に保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

●本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、ガス事業者または最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社にお問い合わせください。

●本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

●本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガス検知部にガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が働きません。

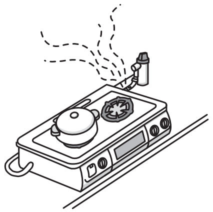
【日常点検のお願い】
警報器が故障すると緑（電源）ランプが高速点滅となりお知らせします。
燃焼器をお使いになる前に緑（電源）ランプの状態を確認してください。
緑（電源）ランプが高速点滅（8 ページ参照）をしていたら、最寄りのガス事業者にご連絡ください。

必ず行う

警報器の機能について

■ ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。



《お断わり》

- ●ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が働きません。
- ●ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
  ガスもれやCO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●取付場所近くでのガスもれやCO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスやCOには警報を発しないことがあります。

もくじ

はじめに

◙ 警報器をご使用になる皆さま及び施工される方へ

- 安全上のご注意 …… 1
- 対象ガス …… 4
- 各部のなまえとはたらき …… 5
- 警報器のお知らせ機能について …… 7
- 使用方法 …… 9

警報器が作動したら

◙ 警報器をご使用になる皆さまへ

1. 赤（ガス警報）ランプが点滅しているときの処置のしかた …… 10
2. 『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置のしかた …… 10
3. 黄（CO 警報）ランプが点滅しているときの処置のしかた …… 12
4. 『ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた …… 12
5. 『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』 と『ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置のしかた …… 14
6. 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた …… 16

ランプ表示・音声出力の事象一覧表 …… 18

取り扱いかた

- お手入れのしかた …… 19
- 警報器の取り外し・取り付けかた …… 20
- 噴霧式殺虫剤を使用するときは …… 21
- 点検方法について …… 24

その他

- 故障かな？と思ったら …… 27
- アフターサービスについて …… 28
- 廃棄について …… 28
- 仕様 …… 29

施工

◙ 施工される方へ

- 施工される方へのお願い …… 30
- 取り付け前の確認 …… 31
- 取付位置の確認 …… 32
- 電気工事要領・取り付けかた・外部機器への連動接続 …… 34
- 取り付け後の確認・点検 …… 38
- お客さまへの説明について …… 42

保証書 …… 43

● 警報器をご使用になる皆さま及び施工される方へ

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
⚠警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性及び物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

●	「必ず行う」事項を示しています。
🚫	「火気厳禁」事項を示しています。
🚫	「ぬれ手禁止」事項を示しています。
🚫	「水ぬれ禁止」事項を示しています。
🚫	「分解禁止」事項を示しています。
🚫	「一般的な禁止」事項を示しています。

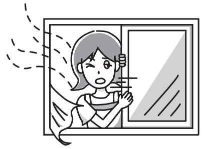
⚠危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。

爆発の恐れがあります。

必ず行う

ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

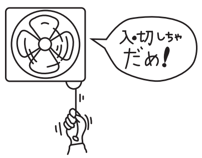


火気厳禁

マッチやライターなど、火気を使わないでください。

禁止

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。



禁止

警報器を取り外さないでください。

禁止

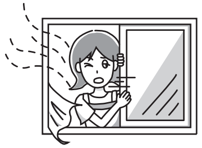
部屋の外から、すぐに入室しないでください。

CO警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。

必ず行う

CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。



禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

⚠警告

必ず行う

常に電源が入っていること(緑(電源)ランプ点灯)を確認してください。

電源が入っていないとガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。

必ず行う

設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。

正常に作動しない恐れがあります。有効期限は、警報器本体に貼り付けされている有効期限シールに示しています。

必ず行う

噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P21～23参照)

- **警報器をポリ袋などで覆う。**
- **噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。**

誤作動の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で警報器の取り付け、取り外しをしないでください。

感電する恐れがあります。

水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショートや感電の恐れがあります。

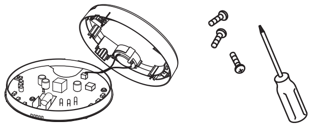
安全上のご注意

⚠警告

分解禁止

分解や改造はしないでください。

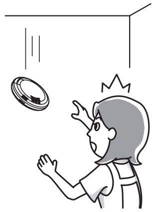
故障の原因となります。



禁　止

衝撃を与えないでください。

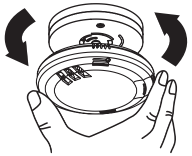
故障の原因となります。



禁　止

警報器をお手入れするとき以外は、警報器を取り外さないでください。

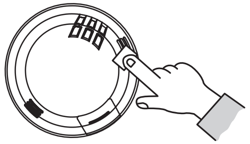
ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。



禁　止

ガス検知部は絶対にふさがないでください。

ガスもれまたはCOを検知しなくなります。



禁　止

煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。

点検ガスにフロンが含まれている場合、ガスセンサの故障の原因となります。

⚠注意

必ず行う

警報器をお手入れするときは、必ず警報器を取り外してください。

感電やけがの原因となります。

必ず行う

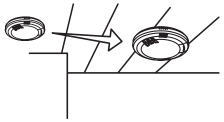
警報器の取り外し・取り付け・点検を行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。

転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

禁　止

取付位置を移動させないでください。

警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、ガス事業者にご相談ください。



禁　止

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。

警報の遅れの原因となります。

禁　止

警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。

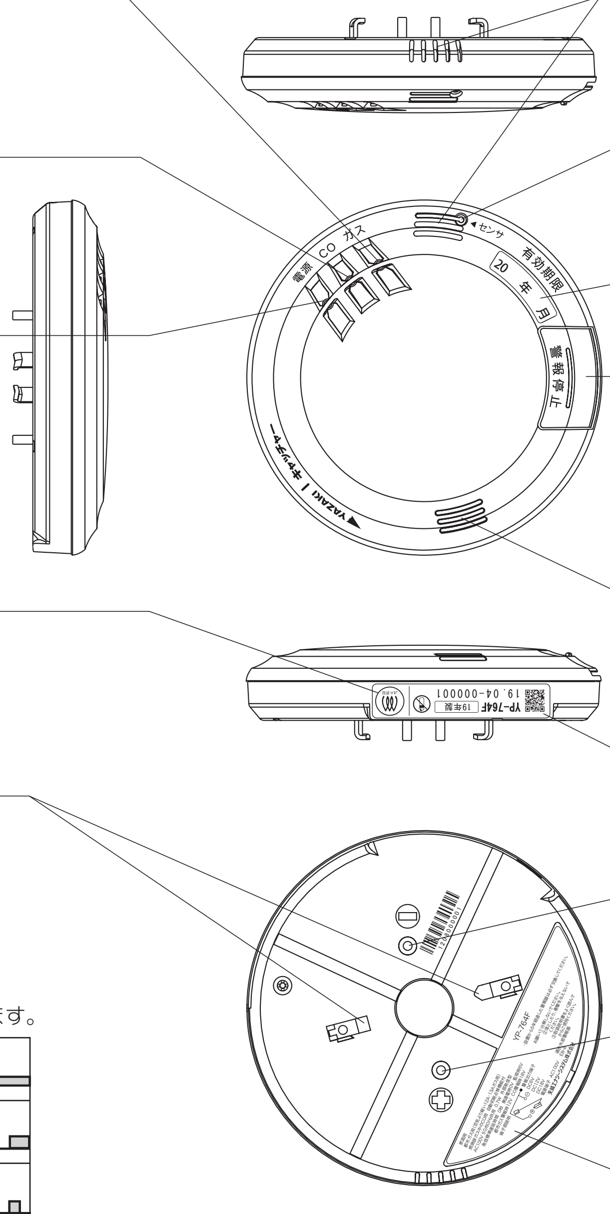
ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。

対象ガス

⚠注意

- ●この警報器は都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）及び燃焼排ガス中のCOを検知します。
- ●都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）供給区域外ではお使いにならないでください。

各部のなまえとはたらき



●赤(ガス警報)ランプ
・ガスを検知すると点滅します。
・ガス濃度が規定値以上になると点灯します。
※点灯時はP10・11を参照ください。

●黄(CO警報)ランプ
・COを検知すると点滅します。
・CO濃度が規定値以上になると点灯します。
※点灯時はP12・13を参照ください。

●緑(電源)ランプ
・電源を入れてから約30秒間は点滅します。
(警報器の安定時間)
・通常(監視時)は緑(電源)ランプが点灯しています。
・故障しているときは高速点滅します。
※高速点滅時はP8を参照ください。

●検査合格証
日本ガス機器検査協会の検査に合格したことを示します。

●電源端子
電源線を接続します。

●ガス検知部
ガス及びCOを検知します。

●ガス検知部点検口
ガス・CO警報点検時にガス採取器によりガスライターから採取したガスを注入します。

●有効期限シール

●警報停止スイッチ
警報停止スイッチを押すことにより、警報音・故障音の停止や外部機器との連動確認、警報履歴の確認、有効期限が過ぎたときの音声確認などができます。
※詳細は P8・16・25・26・37 を参照ください。

●警報スピーカー
ガス､CO を検知すると､音声合成音が鳴ります。
※詳細は P10～15 を参照ください。

●製造ラベル(B)

●外部出力信号端子 ⊖
有電圧信号線(マイナス側)を接続します。

●外部出力信号端子 ⊕
有電圧信号線(プラス側)を接続します。

●製造ラベル(A)

－ランプのつきかたについて－
取扱説明書中のランプの点灯、点滅、高速点滅、遅い点滅は次のように動作します。

点灯	連続して点灯	
点滅	点灯と消灯の繰り返し（0.5 秒周期）	点滅周期
高速点滅	点灯と消灯の繰り返し（0.3 秒周期）	点滅周期
遅い点滅	点灯と消灯の繰り返し（3 秒周期）	点滅周期

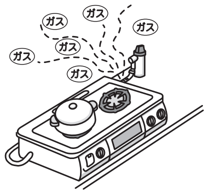
はじめに

警報器のお知らせ機能について

ガス・CO警報機能

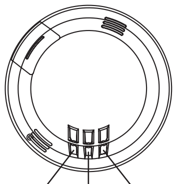
ガスがもれたときは

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



ガス注意報

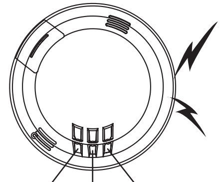
P10参照



ガス警報

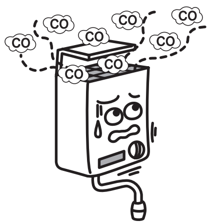
P10.11参照

ウーウーピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか



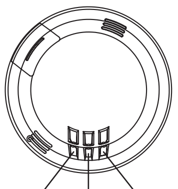
ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。（低濃度が約5分間継続した場合も警報が作動します。）



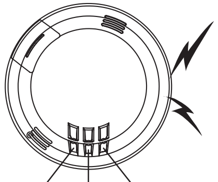
CO注意報

P12参照



約5分後

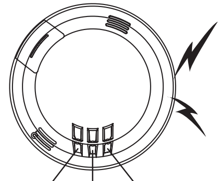
ウーウー ピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください



CO警報

P12.13参照

ウーウー　ピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください



ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

P14.15参照

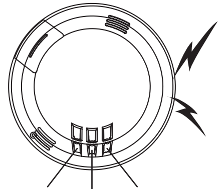
警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。

ウーウー ピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

⇔

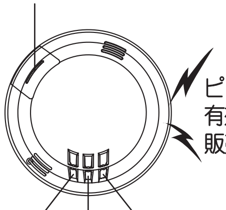
ウーウー ピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

交互に鳴る



有効期限が過ぎたときは

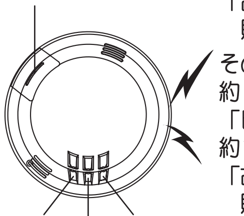
有効期限が半年以上過ぎた場合、緑(電源)ランプが遅い点滅(3秒毎に2秒点灯)となり、有効期限が過ぎていることをお知らせします。
この状態で警報停止スイッチを押すと、
「ピッ 有効期限が切れています
販売店に連絡してください」が鳴ります。
また、有効期限が半年以上過ぎた場合、
電源を再投入すると、30秒後に「正常です」が鳴らずに「有効期限が切れています
販売店に連絡してください」が鳴ります。
※ガス事業者までご連絡ください。



ピッ
有効期限が切れています
販売店に連絡してください

故障しているときは

故障が発生すると、
「故障です 販売店に連絡してください」
が1回鳴り、緑(電源)ランプが高速点滅します。
その後は「ピッピッピッ 故障です」と約1分毎に繰り返し鳴り、約10分毎に
「故障です 販売店に連絡してください」
が鳴ります。
それ以降も同じ動作を繰り返します。
ただし、警報停止スイッチを押すと故障音は約36時間停止します。
緑(電源)ランプの高速点滅は止まりません。
※ガス事業者までご連絡ください。
※外部機器と連動している場合、故障音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

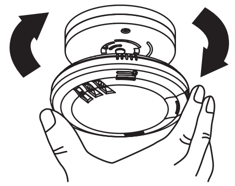


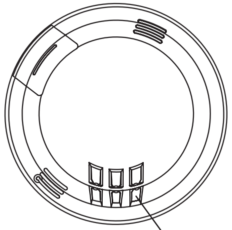
「故障です
販売店に連絡してください」
その後、
約1分毎に
「ピッピッピッ 故障です」
約10分毎に
「故障です
販売店に連絡してください」

使用方法

1 警報器を丸型ベースに差し込む。（電源投入）

緑（電源）ランプが点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。
この間にガスがかかっても本体は作動しません。



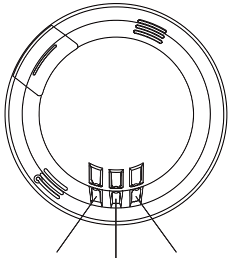


※丸型ベースには方向性がありますので
ご注意願います。

2 電源を供給してから約30秒後、ランプが全点灯した後、消灯します。

〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉

過去に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。（P26参照）



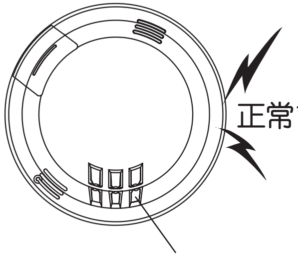
3「正常です」と鳴って緑（電源）ランプが点灯し、監視状態に入ります。

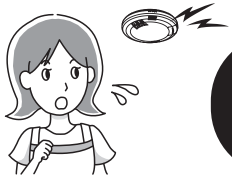
〈有効期限が過ぎている場合〉

「正常です」とは鳴らずにP8に記載している有効期限切れ時の動作となります。
※ガス事業者までご連絡ください。

〈警報器が故障している場合〉

「正常です」とは鳴らずにP8に記載している故障発生時の動作となります。
※ガス事業者までご連絡ください。





■ 警報器をご使用になる皆さまへ

1 赤（ガス警報）ランプが点滅しているときの処置のしかた

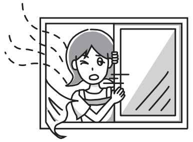
赤（ガス警報）ランプが点滅している場合、ガス注意報を意味しています。

《お断わり》

外部機器と連動している場合、ガス注意報では外部機器は連動動作しません。

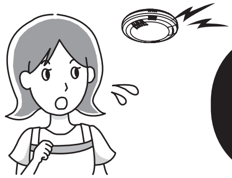
1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、
ランプは消灯します。



2 原因を確認する。

ガス濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。
（P17参照）



2『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置のしかた

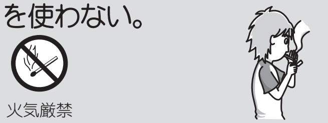
「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」と警報し赤（ガス警報）ランプが点灯している場合、ガス警報を意味しています。

警報音が鳴っている部屋にいるときは

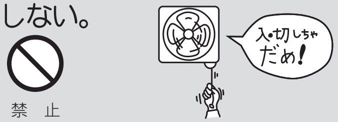
⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

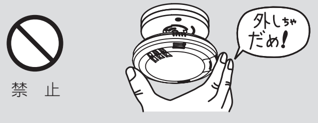
マッチやライターなど、火気を使わない。



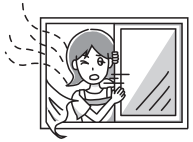
換気扇、電灯、蛍光灯など電気製品のスイッチを入・切しない。



警報器を取り外さない。

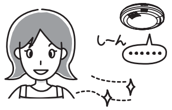


1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス栓や器具栓を閉める。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。【赤（ガス警報）ランプ消灯】



4 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

部屋の外から警報音に気づいたときは

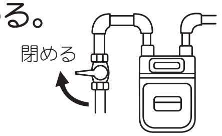
⚠危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、
すぐに入室しない。
爆発の恐れがあります。

禁　止

1 部屋に入らない。
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

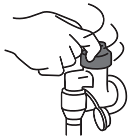
2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
メーターガス栓を開けるときはガス事業者にご連絡ください。

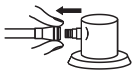


3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。




ガスコンセント接続の場合、コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く

6 ガスもれの原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

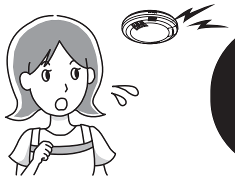
処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

●たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。（有償）

最寄りのガス事業者へ連絡する。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が 30 秒～ 60 秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。
※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が 30 秒～ 60 秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。
ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

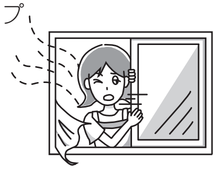


3 黄(CO警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた

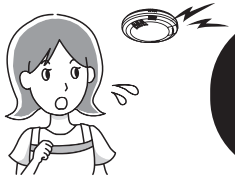
黄(CO警報)ランプが点滅している場合、CO注意報を意味しています。

《お断わり》
●外部機器と連動している場合、CO注意報（黄ランプの点滅のみでありCO警報音が鳴っていない状態）では外部機器は連動動作しません。
※黄(CO警報)ランプの点滅が約5分間継続すると、「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と鳴りはじめます。

1 ドアや窓を開けて換気する。
しばらく換気を続けると、ランプは消灯します。



2 原因を確認する。
CO濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。
(P17参照)



4 『ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた

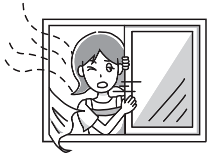
「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報し、黄(CO警報)ランプが点滅または点灯している場合、CO警報を意味しています。

警報音が鳴っている部屋にいるときは

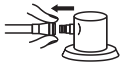
⚠危険

警報音が鳴ったら、
すぐに換気をし、使用中のガス機器を止める。
CO濃度が上昇し短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。

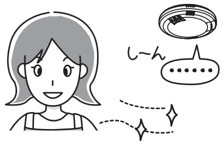
1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。


ガスコンセント接続の場合、コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く

3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【黄(CO警報)ランプ消灯】



警報器が作動したら

部屋の外から警報音に気づいたときは

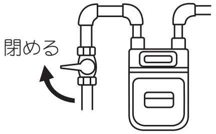
⚠危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、
すぐに入室しない。
CO濃度が濃くなっていることがあり、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。

禁　止

1 部屋に入らない。
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

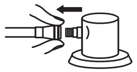
2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
メーターガス栓を開けるときはガス事業者にご連絡ください。



3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く

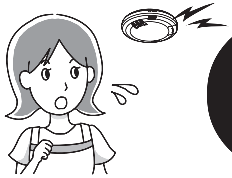
処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

- ●たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ●ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

最寄りのガス事業者へ連絡する。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が 30 秒～ 60 秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。
※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が 30 秒～60 秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。
ガスがなくなると同時に鳴りやみます。



5『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と『ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置のしかた

ガス警報とCO警報を交互に発し、赤(ガス警報)ランプが点灯、黄(CO警報)ランプが点灯もしくは点滅している場合、ガス警報とCO警報の複合警報を意味しています。

警報音が鳴っている部屋にいるときは

⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発やCO中毒の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。

火気厳禁

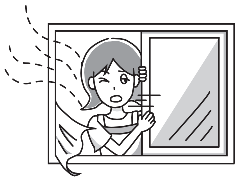
換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。

禁　止

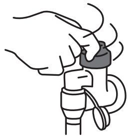
警報器を取り外さない。

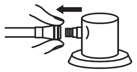
禁　止

1 ドアや窓を開けて換気する。



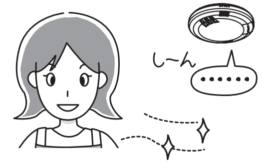
2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。





ガスコンセント接続の場合、コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】



4 ガスもれやCO発生の原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、すぐに入室しない。
爆発やCO中毒の恐れがあります。

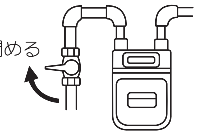
禁　止

1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

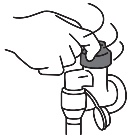
メーターガス栓を開けるときはガス事業者にご連絡ください。

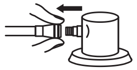


3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。





ガスコンセント接続の場合、コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く

6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

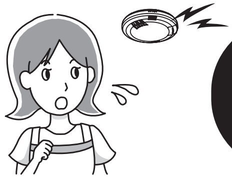
処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

最寄りのガス事業者へ連絡する。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が 30 秒～ 60 秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。
※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が 30 秒～ 60 秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。
ガスがなくなると同時に鳴りやみます。



6 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れにより赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴ったときは

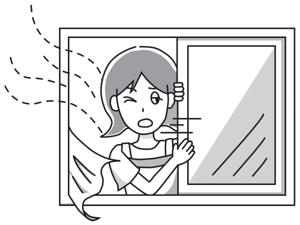
〈警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押すと、

- ガス警報音は1回だけ5分間止めることができます。
- CO警報は黄(CO警報)ランプが点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ警報音を1回だけ5分間止めることができます。

※警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再びガス警報音、CO警報音を発します。
※外部機器と連動していて、かつ警報器周辺のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。



2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が鳴りやむ。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間閉め切られたお部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分（シリコーンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス［エアコンの冷媒ガスなど］）の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

おねがい

- ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプが点滅・点灯したり、警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器は取り外さないでください。

〈ガス警報・CO 警報〉

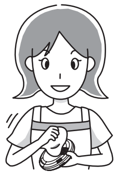
- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤・香油(アロマオイル)などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋(業務用)で湯を沸かしていませんか。点火初期時にCOが発生し、CO警報を発することがあります。

ランプ表示・音声出力の事象一覧表

表中の ○ はランプの点灯、☼ はランプの点滅を表しています。

ランプ 緑(電源)	ランプ 黄(CO)	ランプ 赤(ガス)	音声内容	事象	対応方法
○点灯			なし	通常動作〔監視中〕	―
○点灯		☼点滅	なし	ガス注意報	P10 参照
○点灯		○点灯	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	ガス警報	P10～11 参照
○点灯	☼点滅		なし	CO 注意報	P12 参照
○点灯	☼点滅 / ○点灯		ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	CO 警報	P12～13 参照
○点灯	☼点滅	☼点滅	なし	ガス注意報とCO注意報	P10,12 参照
○点灯	☼点滅	○点灯	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	ガス警報とCO注意報	P10～11 参照
○点灯	☼点滅 / ○点灯	☼点滅	ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	CO警報とガス注意報	P12～13 参照
○点灯	☼点滅 / ○点灯	○点灯	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか / ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください（交互）	ガス警報とCO警報	P14～15 参照
☼高速点滅			故障です 販売店に連絡してください（10 分毎） ピッピッピッ 故障です（1 分毎）	故障警報（警報器が故障診断機能により故障と判断した状態）	ガス事業者に連絡してください
☼遅い点滅			ピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください （警報停止スイッチ操作時）	有効期限切れ（警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態）	ガス事業者に連絡してください

※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。
この場合、ガス事業者に連絡してください。

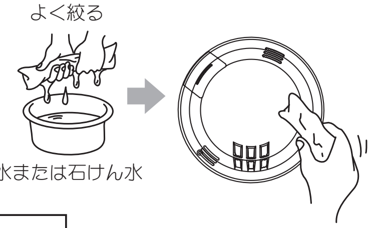


お手入れのしかた

1 警報器を取り外す。(P20参照)

《お断わり》
外部機器(インターホンなどの集中監視機器)と接続しているときは、警報器を取り外すと、外部機器で警報音(故障表示)が鳴ることがあります。

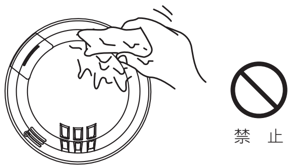
2 警報器及び取付部付近の天井面の汚れをふき取る。



●警報器表面・天井面
布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。

おねがい

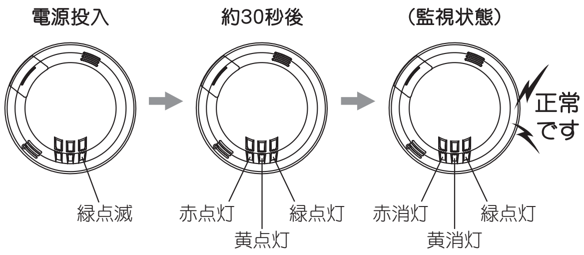
●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。



●お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤(ガス警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

3 警報器を取り付ける。(P20参照)

●警報器の電源が入ります。
緑(電源)ランプが点滅し、約30秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
異常があれば「故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。

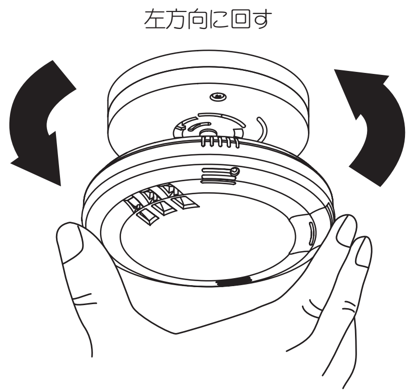


〈過去 10 日以内に警報器が作動した場合〉
電源を入れてから約30秒後ランプが全点灯した後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが約1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです。)

警報器の取り外し・取り付けかた

〈取り外しかた〉

警報器を左方向（反時計方向）に回して取り外す。



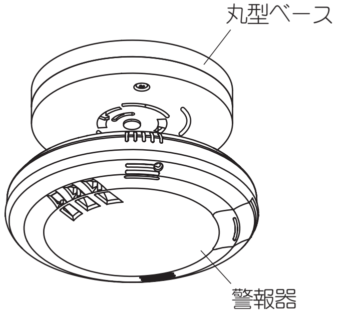
⚠注意

●警報器の取り外しは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。

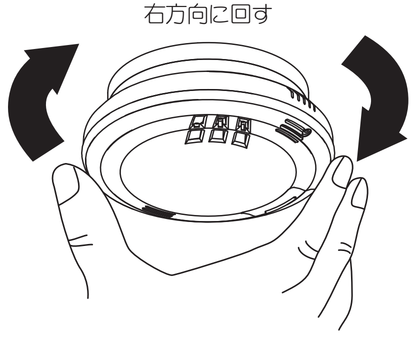
〈取り付けかた〉

1 警報器を丸型ベースに差し込む。

※丸型ベースは方向性がありますのでご注意願います。



2 警報器を右方向（時計方向）に回して取り付ける。



⚠注意

●警報器本体を止まる位置まで右に回し、確実に固定されているか確認してください。
また、過度に回しすぎないように注意してください。
破損の原因になります。

●警報器の取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。

噴霧式殺虫剤を使用するときは

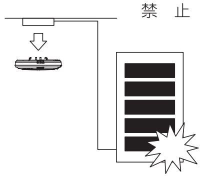
噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

⚠警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。
警報器が作動しません。

警報器は取り外さないでください。

警報器の信号が外部機器と接続されている場合は、警報器を丸型ベースから取り外すと、外部機器で警報音(故障表示)が鳴ることがあります。



⚠注意

警報器へのポリ袋の取り付け・取り外しは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。

1 警報器をポリ袋で覆う

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応してガス警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

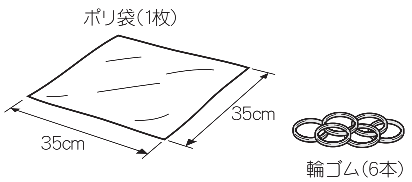
1. 天井面がペンキ塗装などの場合には、以下の手順で処置してください。

【準備するもの】

●**ポリ袋（35 ㎝ ×35 ㎝・1 枚）**

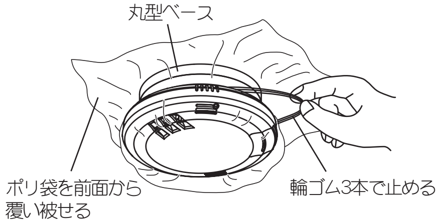
ポリプロピレン製（PP または >PP< 表示）が好ましいですが、ポリエチレン製でも一定の効果があります。

●**輪ゴム（6 本）**

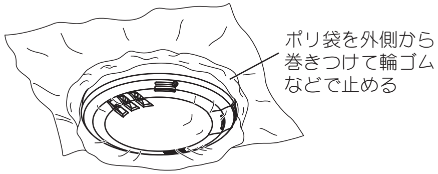


【処置のしかた】

①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、丸型ベース部分を輪ゴムで止めてください。
輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかり止めてください。



②ポリ袋と天井の隙間から噴射ガスが侵入するのを防ぐため、輪ゴムで止めたポリ袋の上から丸型ベースに添って、ポリ袋を1周まきつけて、輪ゴムなど(3本程度)で止めてください。



2. 1の方法で処置できない場合は、以下の手順で処置してください。

【準備するもの】

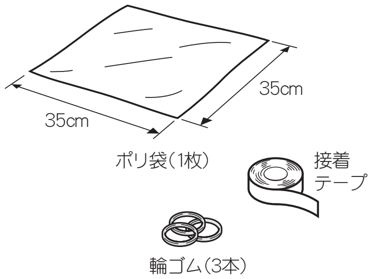
●**ポリ袋（35 ㎝ ×35 ㎝・1 枚）**

ポリプロピレン製（PP または >PP< 表示）が好ましいですが、ポリエチレン製でも一定の効果があります。

●**輪ゴム（3 本）**

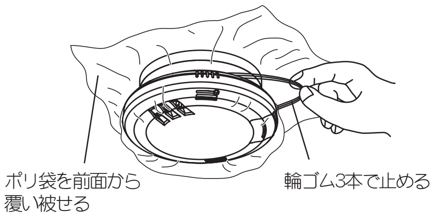
●**接着テープ**

養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、また、剥がすときに天井面をいためないテープを選んでください。



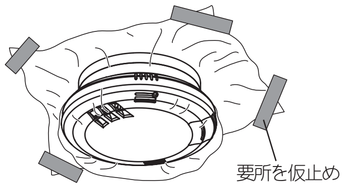
【処置のしかた】

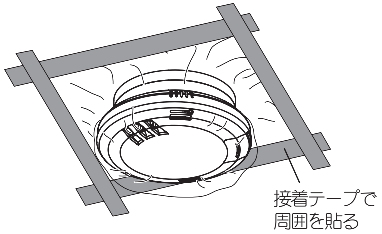
①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、丸型ベース部分を輪ゴムで止めてください。
輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかり止めてください。



②ポリ袋と天井の隙間から噴射ガスが侵入するのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで天井面に貼り付けてください。
要所をテープで仮止めしてから、周囲を貼ってください。ただし、天井面などの状況により貼り付けができない場合は、①のみの処置でも一定の効果はあります。

※ポリ袋と天井面の間に隙間ができないように、接着テープを貼ってください。特に、ポリ袋がしわになっている部分に注意してください。





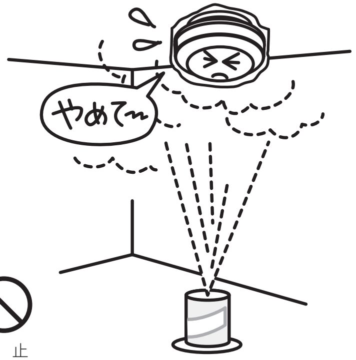
取り扱いかた

2 噴霧式殺虫剤を噴霧する

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。
噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- **部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。**
  必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- **噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。**
  警報器の真下は避けてください。
- **ポリ袋と天井面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。**
- **警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。**
  ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- **経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。**

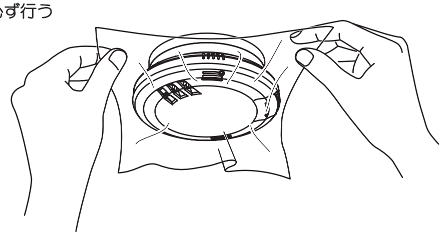
禁　止



3 ポリ袋を取り外す

噴霧が終わり、換気した後、忘れずにポリ袋を取り外してください。

必ず行う



おねがい

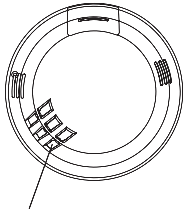
接着テープを外すときは、天井面などを傷めないように慎重に行ってください。

点検方法について

日常の点検

日常、警報器の緑(電源)ランプが点灯していることを確認してください。

※緑(電源)ランプが消灯、高速点滅もしくは遅い点滅をしている場合は、ガス事業者に連絡してください。
(P27『故障かな？と思ったら』を参照ください。)



定期点検

⚠ 警告

- **点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。**
  警報器の破損や火災の原因になります。
- **点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。**
  転倒してけがをする恐れがあります。

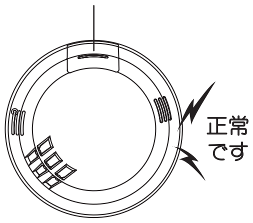
毎月1回を目安に、警報器が正常に動作していることを確認してください。

〈定期点検のしかた〉

①警報停止スイッチを約１秒間押し「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離してください。

②ランプが点灯した後に「正常です」と鳴ることを確認してください。

※万一、異常があれば「故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。
※警報停止スイッチの操作については、電源を入れてから４分間は動作が異なります。詳しくは、P41「警報ランプと警報音の確認」を参照ください。



外部機器との連動確認機能について

⚠警告

●**点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。**
警報器の破損や火災の原因になります。

●**点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。**
転倒してけがをする恐れがあります。

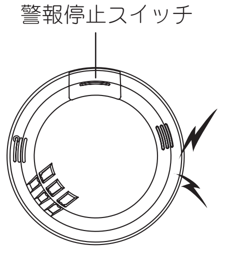
⚠注意

●**外部機器(マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等)が作動しますので、連動確認機能を操作される場合はご注意ください。**

●**マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。**

〈連動確認のしかた〉

①警報停止スイッチを3秒間押し続けてください。
「ピッピッ」と開始音が鳴ります。
(緑(電源)ランプが点滅を開始)



②警報停止スイッチを離すと以下のように作動することを確認してください。(外部出力信号が1分間出力されます。有電圧は12Vと18Vが交互に出力されます。)

動作順	音声内容	ランプ			有電圧出力(12V⇔18V)
		緑(電源)	黄(CO)	赤(ガス)	
1	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	☼ 点滅		○ 点灯	ON
2	ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	☼ 点滅	○ 点灯		ON
3	無音	☼ 点滅	○ 点灯	○ 点灯	ON

③約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態(緑(電源)ランプ点灯)に戻ります。
※1分以内に点検を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、即時に終了します。

警報履歴の確認(鳴動原因表示機能)

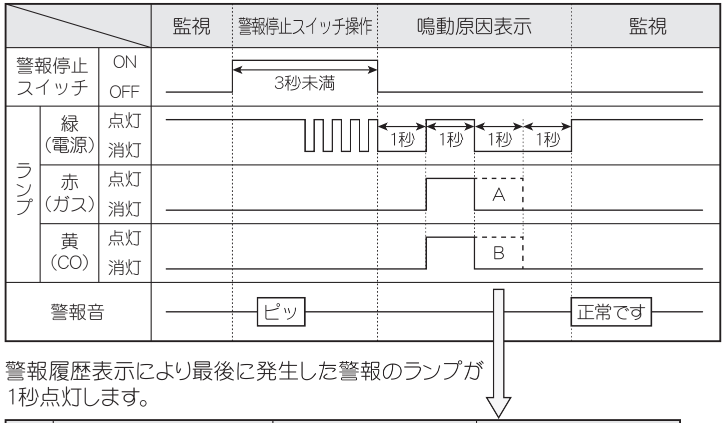
警報器が鳴動した履歴がある場合、下記の方法で過去 10 日以内に発生した警報の種類を確認することができます。

①監視時(電源投入から 4 分以降)に警報停止スイッチを押し「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離してください。

②全てのランプが約 1 秒間消灯した後、約 1 秒間点灯します。

③鳴動の履歴がある場合は、過去 10 日以内に警報したランプがさらに約 1 秒間点灯します。
(タイミングチャートの A, B を参照ください)
※鳴動の履歴が無い場合は、ランプ 1 秒点灯は動作しません。

④緑(電源)ランプが点灯状態となり、「正常です」を発した後、監視状態となります。



警報履歴表示により最後に発生した警報のランプが1秒点灯します。

	警報履歴	赤(ガス警報)ランプ	黄(CO 警報)ランプ
A	ガス警報	1 秒点灯(計 2 秒)	消灯
B	CO 警報・CO 注意報	消灯	1 秒点灯(計 2 秒)
—	警報履歴なし	—	—

●上記のランプ表示動作は、最新1回のみの警報履歴をお知らせしているものです。

●警報器を丸型ベースに差し込んだときも緑(電源)ランプが点滅し、約30秒後に同様の動作をします。

●警報履歴は警報解除から約10日間経過した場合、消去されます。

故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
緑(電源)ランプが消灯している。	警報器が丸型ベースにしっかりと差し込まれていますか。	警報器を丸型ベースに差し込んでください。
警報器が正常にもかかわらず、外部機器が鳴る。	電源ブレーカーが切れていませんか。	ブレーカーを入れてください。
	停電していませんか。	停電でなければ、警報器の故障もしくは丸型ベース内部の断線、誤配線などが考えられますので、ガス事業者に連絡してください。
警報器が温かくなっている。	―	通電により、センサ部を加熱しています。異常ではありません。
緑(電源)ランプが高速点滅している。	「ピッピッピッ 故障です」の故障音が鳴っていませんか。	故障ですのでガス事業者に連絡してください。 警報停止スイッチを押すと故障音を約36時間停止できます。
ガスもれ、COの発生ではないのに、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P17参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅や警報音が止まります。 鳴りやまない場合はガス事業者へ連絡してください。
	ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の点検を受けてください。(有償)
	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	それらの機器も点検を受けてください。
電源を入れたときに、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが長く点灯する。	10日以内に警報を発していませんか。	鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P26参照)
緑(電源)ランプが遅い点滅をしている。(電源を入れたときや、警報停止スイッチを押したときに「ピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください」と鳴る)	警報器の有効期限シールに記載されている有効期限が過ぎていませんか。	有効期限が過ぎていれば、ガス事業者に連絡してください。(P8参照)

アフターサービスについて

■この警報器は、5年間の無償保証付です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。
ただし保証書記載の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。

■この警報器の有効期限は、ご使用開始後5年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。

■保証書に取付け年月日及び販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。

■保証書は大切に保管してください。

■アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、ガス事業者または最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社までご連絡ください。

■警報器の有効期限が過ぎたときは、ガス事業者までご連絡ください。

■作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。

■引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、ガス事業者までご連絡ください。

廃棄について

〈お買い上げいただいた警報器の廃棄〉

お客さまにて、お住まいの市町村の廃棄物処理方法にしたがって廃棄してください。

仕 様

項目				仕様
型番（商品名）				YP-764F 型（ガス・CO 警報器, 家庭用）
ガス警報機能・CO警報機能	対象ガス			都市ガス（空気より軽い 12A・13A ガス用） 燃焼排ガス中のCO
	検知方式			半導体式
	都市ガス	ガス警報	作動条件	＊爆発下限界濃度の 1/4 の都市ガスに対し 60 秒以内に警報
			表示・	赤（ガス警報）ランプ点灯
			発報方式	音声合成警報音
		ガス注意報	作動条件	ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報
			表示・	赤（ガス警報）ランプ点滅
			発報方式	発報音無し
	燃焼排ガス中のCO	CO警報	作動条件	550ppm のCOに対し5 分以内に警報
			表示・	黄（CO 警報）ランプ点灯
			発報方式	音声合成警報音
		CO注意報	作動条件	300ppm のCOに対し１０分以内に注意報
			表示・	黄（CO 警報）ランプ点滅
			発報方式	黄（CO 警報）ランプ点滅が約５分継続すると音声合成警報音
	外部出力信号			有電圧出力　3段階有電圧2線式 （監視時 DC6V、電源OFF時・故障診断時 0V、ガス警報時 DC12V、CO警報時 DC18V）
	一般財団法人 日本ガス機器検査協会（ＪＩＡ）都市ガス用ガス警報器検査規程　認証合格品			
共通仕様	警報音量			70dB/m以上
	電源			AC100V±10V　50/60Hz
	消費電力			監視時 約0.7W、警報時 約1.0W
	付属機能			通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能、鳴動原因表示機能
	使用温度範囲			0℃～+50℃（結露しないこと）
	寸法・質量			φ120×25mm　約130ｇ
	付属品			取扱説明書(保証書付)〔本書〕×1

＊ 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

※ マイコンメーターと接続する場合は、別売の警報器アダプターが必要になります。

その他

施工される方へのお願い

お客さまにこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、本取扱説明書をよくお読みいただき、指定された取り付けを行ってください。

お願いとご注意

警報器を正しく設置していただくため、また、あなたやお客さまへの危害や財産への損害を未然に防止するために、以降で下記の表示を記載しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	**作業を誤った場合に、取付作業者及び使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**作業を誤った場合に、取付作業者及び使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

施工される方へのお願い

●取付終了後に本取扱説明書に従って38ページの「自動初期点検機能の確認」及び必要に応じて39,40ページの「作動点検」を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。また、外部機器と連動した場合は、外部機器の取扱説明書、取付説明書に基づいて連動確認をしてください。

●必要に応じて、42ページの「警報器の説明」「お客さまへの周知事項」についてお客さまに説明を行い、ご理解を得てください。

●43ページの保証書に取付年月日及び販売店名を必ず記入してください。

●警報器を梱包から出された状態で持ち運びまたは保管しないでください。

⚠注意

警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。
故障や誤作動の原因になります。

施工

取り付け前の確認

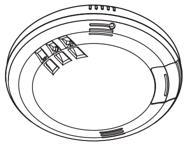
警報器の確認

取り付ける警報器が空気より軽い 12A・13A ガス用であり、本体に異常のないことを確認してください。

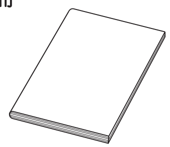
梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

●本体 …1 個



●取扱説明書(保証書付)…1 冊



取付位置の確認

お願いとご注意

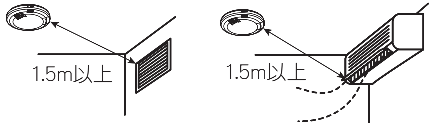
設置場所の選定については、お客さまとよく相談して決めてください。

⚠注意

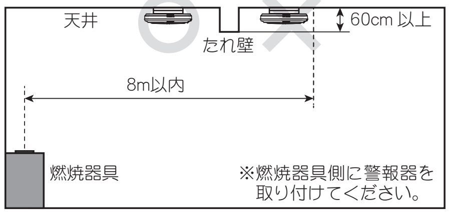
正しい取付位置に取り付けてください。
取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

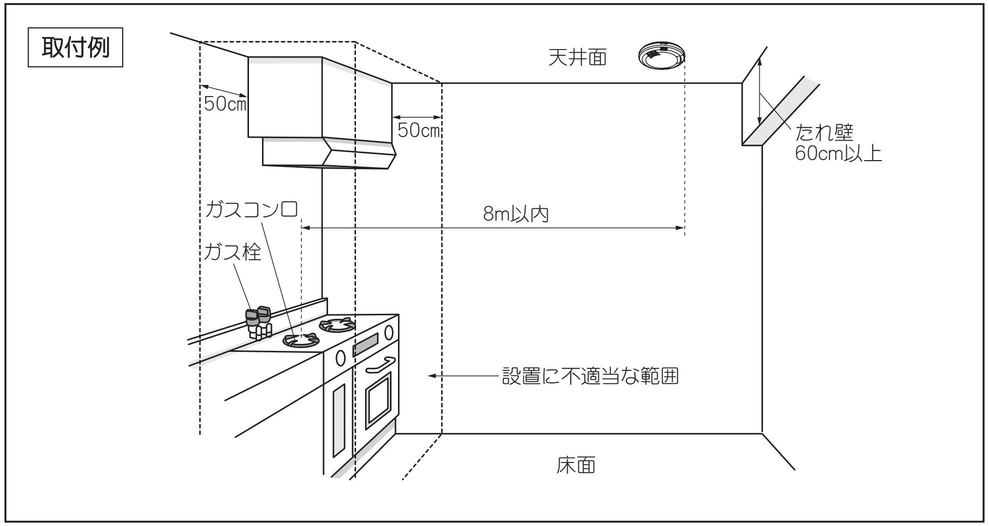
〈正しい取付場所について〉

- ●ガス、CO を検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ●ガスや CO が滞留しやすい位置で、緑(電源)ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ●ガス、CO を検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓)から、水平距離で 8m以内に取り付けてください。
- ●換気口やエアコンなど、空気の吹出し口から 1.5m以上離してください。



- ●天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



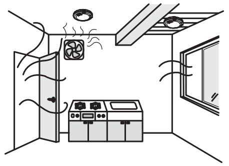


〈取り付けてはいけない場所について〉

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

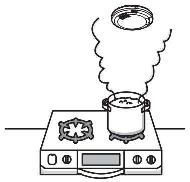
●換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
●隙間風の入る場所。

警報が遅れたり、検知できないことがあります。 禁止



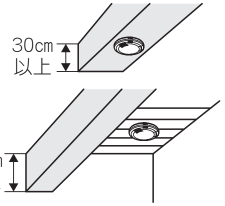
●燃焼器具などの排気、湯気、油煙及び調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。

センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。 禁止



●30cm以上(警報器含)のたれ壁などの下。
●60cm以上のたれ壁で区切られている場所。

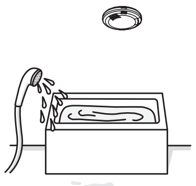
警報が遅れたり、検知できないことがあります。



禁止

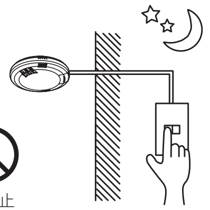
●浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。

感電や電気的故障の原因になります。 禁止



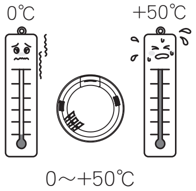
●ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。
●使用時でないと電源を入れない場所。

警報器としての機能を果たしません。 禁止



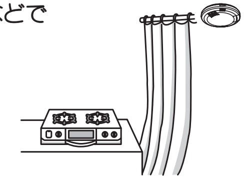
●温度が0〜+50℃の範囲をこえる場所。

警報器としての機能を果たしません。
また、誤作動の原因になります。 禁止



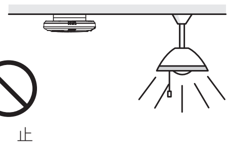
●カーテンウォールなどで仕切られた場所。

警報が遅れます。 禁止



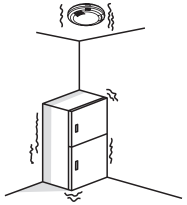
●照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。

センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。 禁止



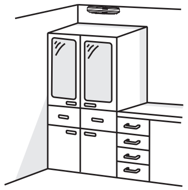
●振動、衝撃の激しい場所。

センサ故障の原因になります。 禁止



●食器棚などの上部。

警報が遅れます。 禁止



●屋外。

屋外用ではありません。 禁止

●業務用・工業用。

家庭用です。業務用・工業用ではありません。 禁止

電気工事要領・取り付けかた・外部機器への連動接続

丸型ベース(別売品)を取り付ける場合は「電気工事要領」から、すでに丸型ベースが取り付けられている場合は「有効期限の記入」から参照してください。

電気工事要領

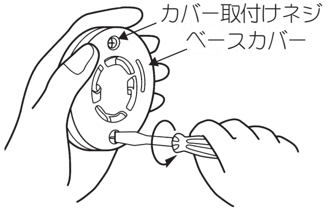
⚠注意

●**丸型ベースの電気工事は専門の電気工事士に依頼してください。**
一般の方が工事をすることはできません。

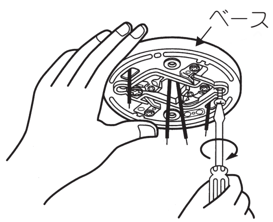
●**金属管またはボックス内に電源用配線と外部出力用信号線を同一配管される場合、外部出力用信号線は 600V 絶縁電線で線径φ1.25以上のものをご使用ください。**

●**端子の配置は「配線方法」に記載していますので、電源用配線(AC100V)と外部出力用信号線は誤配線のないように正しく結線してください。**
誤結線しますと内部回路が破損しますのでご注意ください。
また、外部出力用信号線は極性がありますので、正しく接続してください。

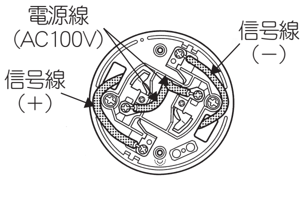
①丸型ベースのカバー取付けネジをゆるめてベースカバーを外します。



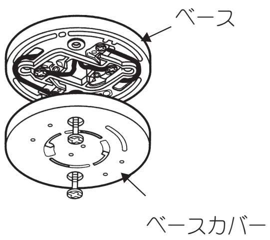
②ベースを付属の木ネジ(丸型ベースに同梱)で天井に取り付けます。このとき電源用配線、外部出力用信号線を各々の穴に通します。



③電源用配線、外部出力用信号線を結線します。
※外部出力用信号線は極性がありますので、ベースの表示通りに結線してください。



④ベースカバーを元通り取り付けます。

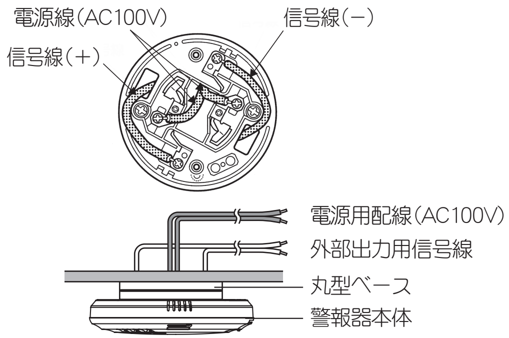


配線方法

⚠注意

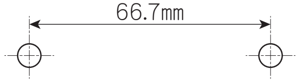
●外部出力用信号線には極性がありますので、配線の際はご注意ください。

●外部出力用信号線は接続ミスをなくすため＋－の色別をしてください。



丸型ベースの取り付け

丸型ベースの取付ピッチ



取付適合部品

●**適合ボックス**
JIS C8340 アウトレットボックス
JIS C8340 コンクリートボックス

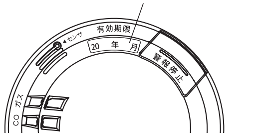
●**適合ボックスカバー**
JIS C8340 丸孔カバー

有効期限の記入

この警報器の有効期限は、取り付け後 5 年間です。必ず、警報器本体に貼ってある「有効期限シール」に有効期限の年月を記入してください。

必ず行う

有効期限シール



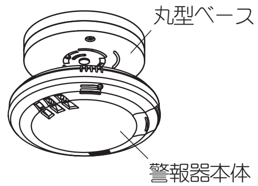
警報器本体の取り付け

⚠注意

●**警報器の取り付け時に、警報器を落とさないように注意してください。**
センサ回路などが故障し、正常に作動しない恐れがあります。

●**警報器は過度に回しすぎないように注意してください。**
破損の原因になります。

①丸型ベースに警報器本体を合わせ、差し込んでください。
※丸型ベースは方向性がありますのでご注意願います。



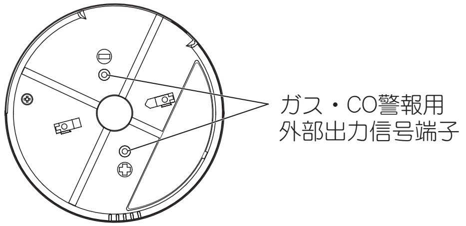
②警報器本体を止まる位置まで右に回し（時計方向）確実に固定します。
※警報器が確実に固定されているか確認してください。

施工

外部機器への連動接続

ガス・CO警報用外部出力信号

・有電圧 0-6-12-18V、有極性。
・警報器背面の端子から丸型ベースを経由して接続。



■外部機器との連動対応表

上段　○：連動可能
×：連動不可能
△：警報器アダプターが必要

下段　警報器が鳴り始めてから、各機器が作動するまでの遅延時間です。この遅延時間は連動機器によって異なります。

連動機器 ＼ 警報の種類 / 外部出力信号	警報時の動作	ガス DC12V	CO DC18V	備考
戸外ブザー	警報音が鳴ります	○	○	ガス・CO警報用
		45秒		
マイコンメーター	ガスを止めます	△	△	
		45秒		
住宅情報盤	警報表示及び警報音が鳴ります	○	○	
		45秒		
集中監視盤	警報表示及び警報音が鳴ります	○	○	
		※1		

※1 機器の設定により、遅延時間が異なります。

〈ご注意〉

●外部出力信号は極性がありますので、外部機器と接続される場合はご注意ください。
●住宅情報盤及び集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づき行ってください。
●連動機器では、ガスと CO の警報は判別できません。住宅情報盤には判別できるものがあります。
●遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書をご参照ください。
●連動機器は専用品をお使いください。（集中監視盤を除く）
●外部連動については、ガス事業者または最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社にご相談ください。

施工

外部機器と連動する場合の注意点及び点検方法

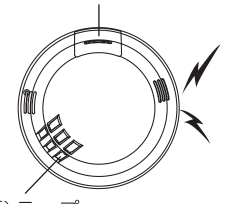
●外部機器と接続する場合は、34ページの「電気工事要領」、35ページの「配線方法」に基づいて行ってください。

●下記の場合は、外部機器の取扱説明書ならびに取付説明書に基づいて連動点検を必ず実施し、外部機器が正常に作動することを確認してください。
①新たに警報器を外部機器と連動する場合。
②警報器を交換する場合。
③外部機器を取り付け・交換する場合。
④配線を修理・交換する場合。
実施しなかった場合、外部機器が正常に作動しない恐れがあります。

●警報器の外部出力動作を確認する場合は、下記の「外部機器との連動点検」または39,40ページの「作動点検」に基づいて行ってください。

●集中監視盤またはインターホンなどと連動した場合、CO警報時でも集中監視盤またはインターホン側は、ガス警報を発する場合があります。

外部機器との連動点検



①警報停止スイッチを 3 秒間押し続けてください。
「ピッピッ」と開始音が鳴ります。
(緑(電源)ランプが点滅を開始します。)
その後警報停止スイッチを離すと外部出力信号が1 分間出力されます。(有電圧は 12V と 18V が交互に出力されます。)

②以下の動作を行います。

動作順	音声内容	ランプ			外部出力
		緑(電源)	黄(CO)	赤(ガス)	有電圧出力(12V⇔18V)
1	ウーウー　ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	点滅		点灯	ON
2	ウーウー　ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	点滅	点灯		ON
3	無音	点滅	点灯	点灯	ON

(注)・上記の動作は連動点検用で、警報時の動作とは異なります。
・この点検は監視中に行うことができます。(電源を入れてから約 30 秒間、緑(電源)ランプが点滅している間は、この点検はできません。)

③約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態(緑(電源)ランプ点灯)に戻ります。

〈1 分以内に点検を終えたいとき〉

上記の動作中に警報停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、即時に終了します。

施工

取り付け後の確認・点検

この警報器は、通電開始後の約30秒間でセンサを含めた内部回路が正常であることを確認する自動初期点検機能を有しています。
製造から取付までが1年以内の警報器(警報器の製造ラベル(B)に記載の製造年月から取付年月までが1年後の同月まで)で、以下の条件を満たす場合は、「作動点検」は不要です。「自動初期点検機能の確認」のみを行ってください。ただし、お客さまから要望があった場合は、39,40ページの「作動点検」を行ってください。

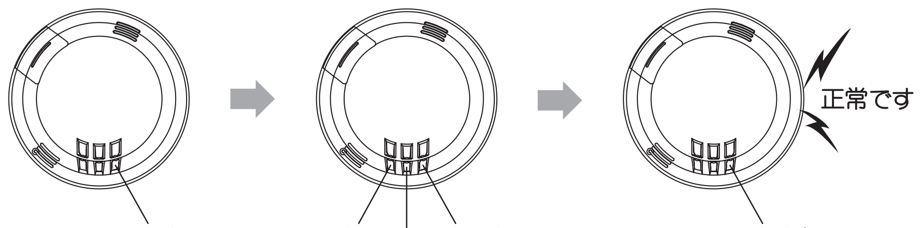
●新規取付時(未入居の新築住宅を含む)
●更新時

以下の場合は、39,40ページの「作動点検」が必要です。「自動初期点検機能の確認」の後に「作動点検」を行ってください。

●製造から取付までが1年を超えた警報器

自動初期点検機能の確認

警報器本体を丸型ベースに差し込んでください。
緑(電源)ランプが点滅し、約 30 秒後にランプが全点灯した後、正常であれば、「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
万一、異常があれば、「故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。
※赤(ガス警報)ランプが点滅することがありますがしばらくすると消灯します。
※緑(電源)ランプ点滅中は作動点検を実施しないでください。



施工

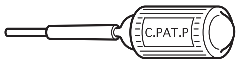
作動点検

おねがい

この警報器は作動点検をスムーズに行うため、電源投入後４分間に限り、採取ガスに対して反応しやすい状態が保持されます。必ずその間に作動点検を行ってください。ただし、通電開始後の緑（電源）ランプが点滅している間（30秒間）は、ガスをかけてもセンサが反応せず、警報を発しないため、作動点検を行わないでください。
上記時間を過ぎると、採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されます。その場合は警報器を取り外し、再度丸型ベースに差し込み直してから行ってください。

〈準備するもの〉

- ●点検ガス採取器（別売品）
- ●ガスライター



点検ガス採取器

⚠注意

アルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガス（生ガス）は、使用しないでください。

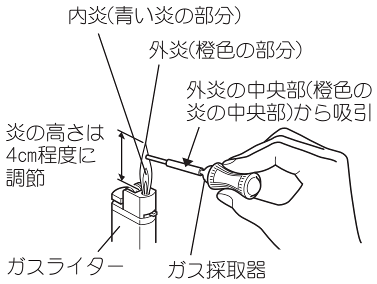
センサ異常またはセンサ故障の原因になったり、警報状態からの復帰に大変時間がかかることがあります。

ガス警報機能とCO警報機能の同時点検

①ガスライターまたはガスコンロを点火し、炎の高さをガスライターでは約4cm、ガスコンロでは約5cmに調節します。

おねがい

炎が小さいとガスが採取しにくくなります。
※ガスコンロの種類により、炎の高さを5cmに調整できない（5cm未満になってしまう）場合は、コンロの火力を最大にしてください。

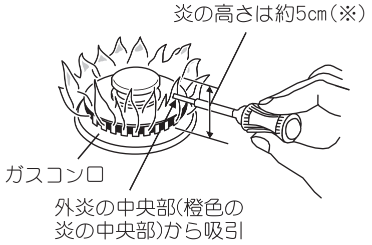


②点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端を炎の外炎の中央部へ持っていきます。

③容器の圧縮をゆっくり（約3秒程度）ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引します。

おねがい

長時間加熱すると、ガス採取器が破損することがありますので注意してください。



④点検ガスの採取が終わったら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスライターの炎を消してください。

⚠警告

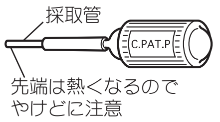
採取したガスは、警報器の点検以外には使用しないでください。

直接吸引するとCO中毒を起こす恐れがあります。

⚠注意

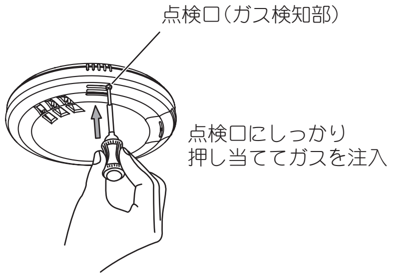
炎から出した直後の採取管は、先端が非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。

やけどをする恐れがあります。

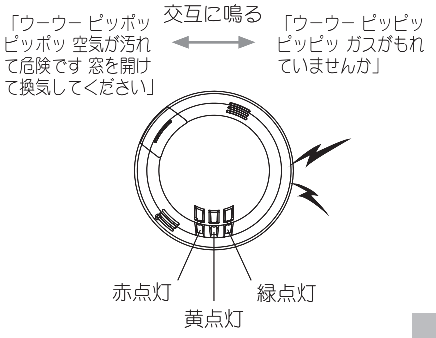


⑤採取管の先端部分の温度が下がるまで（約30秒程度）待ってください。

⑥採取管の先端部分を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり（約3秒程度）注入します。



⑦黄（CO警報）ランプが点灯し、CO警報音「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」が鳴り、赤（ガス警報）ランプが点灯し、ガス警報音「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」が鳴ります。



⑧ガスがなくなると、赤（ガス警報）ランプと黄（CO警報）ランプが消灯します。

※電源を入れてから4分間は、ガスがなくなり監視状態に戻っても有電圧出力が保持されます。この間に警報停止スイッチを押しても出力は解除されません。電源投入から4分間が経過しますと通常の状態に戻ります。
外部機器の作動を解除するときは、いったん警報器を取り外してください。

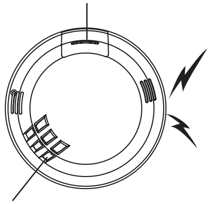
警報ランプと警報音の確認

警報停止スイッチを押すことによって警報ランプと警報音の確認を行なうことができます。

①警報停止スイッチを約 1 秒間押すと「ピッ」と鳴り、緑（電源）ランプが点滅します。

②「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離し、以下の動作をすることを確認してください。
（通電開始後の経過時間によって動作が異なります。）

③すぐに点検を終了したい場合は、警報停止スイッチを再度約 1 秒間押してください。
「ピー」と鳴り、緑（電源）ランプが点灯し、監視状態に戻ります。



通電開始後の経過時間	動作順	音声内容	ランプ		
			緑（電源）	黄（CO）	赤（ガス）
4分以内	1	ウーウー　ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	点滅		点灯
	2	ウーウー　ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	点滅	点灯	
	3	ピー	点灯		
4分を超える	−	正常です	点灯	※1	※1

※1 鳴動の履歴がある場合は、過去10日以内に発生した警報のランプが約1秒間点灯します。（鳴動原因表示機能）

（注）この点検は監視中に行うことができます。（電源を入れてから約 30 秒間、緑（電源）ランプが点滅している間は、この点検はできません）

お客さまへの説明について

警報器の説明

①警報動作及び自動初期点検機能の結果の説明。
作動点検をした場合は、作動点検の結果の説明。
②取扱説明書を必ず読んでいただくことと、保管していただくことのお願い。
③取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。

1. ガス警報の内容（赤（ガス警報）ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
2. CO 警報の内容（黄（CO 警報）ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
3. ガス警報、CO 警報の同時警報の内容（赤（ガス警報）ランプと黄（CO 警報）ランプの点滅・点灯、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
4. 部屋の外にいて、ガス警報、CO 警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
5. 誤報が発生する原因と処置の説明。
6. 警報停止スイッチ操作の説明。
   - 外部機器との連動点検
   - 警報音停止
   - 有効期限切れ音声機能

お客さまへの周知事項

①保証期間 5 年。
②警報器の有効期限のお知らせ。
（本体に貼付の有効期限シールに表示）
③保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱っていただく。
④警報器の移設禁止。（移設依頼時の連絡先）
⑤警報器の分解禁止。
⑥引越時の処置。
⑦故障・異常時の連絡先。

保　証　書

製品名　　ガス・CO警報器　**キャッチャー**

このたびは、ガス・CO警報器 **キャッチャー** をお取り付けいただき、まことにありがとうございます。
この保証書は、本製品の保証期間内において取扱説明書に基づいた正常な使用状態で異常、故障が発生した場合、本書記載内容にて無償点検あるいは、無償取替えを行うことを、お約束するものです。

形式	家庭用 YP-764F（空気より軽い12A・13Aガス用）	
製造番号		
お取付年月日	年　　月　　日	
保証期間	お取付年月日より	5　年　間
お客さま	〒 ご住所 お名前 電　話　（　　）	
販売店	住所・店名 電話　（　　）	

矢崎エナジーシステム株式会社

発売元及び製造元

発売元（本社）
〒108-8333 東京都港区三田1丁目4番28号三田国際ビル17F
製造元（天竜工場）
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4111
（お問合わせ先） ガス機器事業部
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4511

YAZAKI

（次ページもご覧ください）

保証規定

1. 表記の保証期間内に正常なご使用状態において、異常が認められた場合には、お申し出により無償点検あるいは、無償取替えをいたします。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有償点検あるいは、有償取替えとなります。
   ① 本製品に異常が認められない場合。
   ② 取扱説明書に基づかないで使用し、故障または損傷した場合。
   ③ 火災・天災・異常電圧・異常温度などの不可抗力による破壊または損傷。
   ④ 取付位置が浴室・屋外・高温多湿など著しく不適当な場所で使用した場合の故障または損傷。
   ⑤ お取り付け後、分解や改造などをされた場合の故障または損傷。
   ⑥ お取り付け後の取付場所の移動､落下などによる故障または損傷。
   ⑦ 水や煮こぼれなどの液体、または動植物による故障または損傷。
   ⑧ 本保証書のご提示がない場合。
   ⑨ 本書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. 本書は日本国内のみにおいて有効です。
4. なお、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

お願い

●本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
●本警報器の保証期間はお取付年月日より5年間です。
警報器は保安機器であり、お取り付け後5年を過ぎたものは、是非新しいものとお取替えください。

お取替え予定日	年　　月　　日